

生成AIでイラストの描き方 と生成AIの注意点

改めてイラストの描き方

Adobe Illustratorの生成AI機能を使ってイラストを描く方法は、主に「テキストからベクター生成」機能を利用します。

これは、テキストで指示を与えるだけで、その内容に沿ったベクターイラストを自動生成する機能です。

以下、簡潔に手順とポイントをまとめます。



基本的な流れ

アートボード上に図形を作成:

まず、イラストのベースとなる図形（長方形、円など）をアートボード上に作成します。これは必須ではありませんが、生成範囲を定めるのに役立ちます。

「生成」を選択:

作成した図形を選択した状態で、プロパティパネルまたはコンテキストタスクバーにある「生成」ボタンをクリックします。

プロンプトを入力:

表示された入力欄に、生成したいイラストの説明をテキストで入力します。例えば、「赤いリンゴ」「空を飛ぶ猫」「抽象的な模様」など、具体的に記述します。

生成を実行:

入力後、「生成」ボタンをクリックすると、AIが画像を生成します。通常、数秒で3つのバリエーションが生成されます。

生成されたイラストを選択:

生成された3つのバリエーションから、気に入ったイラストを選択します。

必要に応じて編集:

生成されたイラストはベクターデータなので、パスの編集や色の変更など、Illustratorの通常のツールで自由に編集できます。

プロンプトのコツ

具体的に記述:

「何を」「どのように」描きたいかを明確に記述することで、AIはより意図に近い画像を生成できます。
例えば、「猫」ではなく「オレンジ色の縞模様の猫が座っている」と記述する方が、より具体的な結果が得られます。

スタイルを指定:

「水彩画風」「アニメ風」「写實的」など、描画スタイルを指定することで、表現の幅が広がります。

キーワードを活用:

重要なキーワードを含めることで、AIは関連性の高い情報を抽出し、適切な画像を生成できます。

ネガティブプロンプト:

生成したくない要素を指定することも可能です。
例えば、「背景なし」と記述することで、背景のないイラストを生成できます。

種類を選択:

生成するベクターの種類として、「被写体」「シーン」「アイコン」「パターン」から選択できます。
目的に合わせて使い分けましょう。

その他の機能

スタイル参照:

既存の画像を参照して、そのスタイルでイラストを生成することもできます。

生成塗りつぶし(シェイプ)(Beta):

ベクター画像をIllustratorで開き、画像を選択⇒

[生成塗りつぶし(シェイプ)(Beta)]をクリック⇒

プロンプトを入力⇒

[生成(Beta)]をクリックすることで、取り入れた画像をもとにイラストを作成できます。

さらに、作成したイラストを選択⇒

[スタイル参照]をクリック⇒

[アセットを選択]⇒

Illustrator内でもとにしたい画像を選択⇒

[生成]をクリックすることで、特定のスタイルを反映させることも可能です。

注意点

生成AIは完璧ではなく、意図しない画像が生成されることもあります。

その場合は、プロンプトを修正したり、生成されたイラストを編集したりすることで、目的のイラストに近づけていく必要があります。

生成された画像はベクターデータとして出力されます。これにより、拡大縮小しても画質が劣化しないというメリットがあります。

商用利用に関しては、Adobeの利用規約を確認するようにしましょう。

これらのポイントを踏まえることで、Adobe Illustratorの生成AI機能を効果的に活用し、簡単にイラストを作成することができます。

個人情報とは

- ・特定の個人を識別できるもの
- ・個人の身体 of データ
- ・人に割り振られる公的な番号

1. 取得利用 > 勝手に使わない!

- 利用目的を特定して、その範囲内で利用する。
- 利用目的を通知又は公表する。

2. 保管管理 > なくさない! 漏らさない!

- 漏えい等が生じないように 安全に管理する。
- 従業者・委託先にも安全管理を徹底する。

3. 提供 > 勝手に人に渡さない!

- 第三者に提供する場合はあらかじめ本人から同意を得る。
- 第三者に提供した場合・第三者から提供を受けた場合は一定事項を記録する。

4. 開示請求等への対応 > お問い合わせに対応!

- 本人から開示等の請求あった場合はこれに対応する。
- 苦情に適切・迅速に対応する。

生成AI活用における個人情報の取り扱い

01.利用目的の確認

生成AIサービスに個人情報を含むプロンプトを入力する際は、その情報が特定された利用目的を達成するために必要な範囲内であることを確認すること。

02.本人の同意

個人情報を利用目的を超えて使用する場合は、事前に本人の同意を得る必要がある。

03.適切なセキュリティ対策

個人情報の保管や廃棄には、適切なセキュリティ対策を講じる必要がある。

04.機械学習への利用確認

生成AIサービスに個人情報を含む文章を入力する場合、事業者が当該情報を機械学習に利用するかどうかを事前に確認しておく。

■ 発明

【説明】

技術的なアイデア。IT・ソフトウェア、機械・構造物 ・ ハードウェア、化学物質・材料 ・ 医薬等が対象。

【具体例】

メッセージアプリの機能やUIUXの設計、プリンタの機構や仕組み、日用品の機能や構造、飲食物の提供のオペレーション、医薬品等。

□特許（特許権）

発明を保護する権利。特許庁への出願に基づき付与される権利。保護期間は出願日から20年。

■ 商標

【説明】

商品・サービスを識別（区別）するためのもの。

【具体例】

企業・商品・サービス等の名称やロゴマーク、キャッチフレーズ広告用のスローガン 商品の包装デザイン等。

□商標権

商標を保護する権利。特許庁への出願に基づき付与される権利。保護期間は10年で更新可能。

■ 意匠

【説明】

物品・建築物・画像のデザイン、物品や建築物の形状、模様、色彩、スマートフォン PC等の端末に表示される画像等が対象。

【具体例】

家具や日用品の形状、機械製品の外形、オフィスビルの内装、家や建物の外観、画面に表示されるアイコン等。

□意匠権

意匠を保護する権利。特許庁への出願に基づき付与される権利。保護期間は出願日から25年。

■著作物

【説明】

文書、学術、芸術、音楽に関する創作物を含む広範な内容が対象。

【具体例】

楽曲、ニュースやブログの記事、動画、写真、イラスト、ダンスの振付等。

□著作権

著作物を保護する権利。著作者の死後70年まで保護される。

■人物の顔・姿態

【説明】

撮影・公開・利用の対象となる人物の顔・姿態。一般人も含む。

【具体例】

自撮り写真、家族写真、映画やテレビ番組で撮影された人物、イベントでの写真や動画。

□肖像権

無断で他者の顔・姿態を利用することを防ぐ権利。公開や利用には本人の同意が必要。

■著名人の肖像・氏名等

【説明】

顧客吸引力を持つ著名な人物の肖像・氏名等。

【具体例】

有名アイドル、著名な俳優、ビジネスリーダーの写真や名前。

□パブリシティ権

著名人の肖像・名前等を利用して商品やサービスを宣伝する際に必要な権利。無断利用を防ぐ。

■営業秘密

【説明】
企業の機密情報。

【具体例】
顧客リスト、営業マニュアル、仕入れ先リスト、設計図、実験データ。

□不正競争防止法
事業者間の公正な競争を守るために、営業秘密の不正利用を防止する法律。

AI社会の基本理念

※出典：人間中心のAI社会原則（内閣府）

人間の尊厳が尊重される社会(Dig Inity)

AIは人間の能力を引き出し創造性を高める道具であり、人間の尊厳が尊重される社会を目指すべき。

多様な背景を持つ人々が多様な幸せを追求できる社会(Diversity & Incl.usion)

多様性を包摂し新たな価値を創造する社会の実現に、AIは有力な道具となる。適切な開発・展開が必要。

持続性ある社会(Sustainability)

AIで格差解消や環境問題対応を進め、持続可能な社会を実現すべく、日本は科学技術立国として貢献する資務がある。

01.適正利用の原則

利用者は人間と AI の適切な役割分担のもと、適正に利用するよう努める。

02.適正学習の原則

利用者及びデータ提供者は、AIの学習等に用いるデータの質に留意する。

03.連携の原則

AI プロバイダ、利用者、データ提供者は連携に留意し、利用者はネットワーク化によるリスクに注意する。

04.安全の原則

利用者は、AI を利用する際、利用者や第三者の生命・身体・財産への危害を及ぼさないよう配慮する。

05.セキュリティの原則

利用者及びデータ提供者は、AIシステム又はAIサービスのセキュリティに留意する。

06.プライバシーの原則

利用者とデータ提供者は、AI の利活用でプライバシーが侵害されないよう配慮する。

07.尊厳・自律の原則

利用者は、AIの利活用で人間の尊厳と個人の自律を尊重する。

08.公平性の原則

AIプロバイダ、利用者、データ提供者は、AIの判断のバイアスに留意し、不当な差別が生じないように配慮する。

09.透明性の原則

AIプロバイダとビジネス利用者は、AIの入出力の検証可能性と判断結果の説明可能性に留意する。

10.アカウンタビリティの原則

利用者は、ステークホルダに対しアカウンタビリティを果たすよう努める。

まとめ

とにかく多くの作品を作りましょう！

就職活動という機会を活かして、
作品制作に没頭してみましょう！
ちなみに、次はお仕事になるのです！！

